

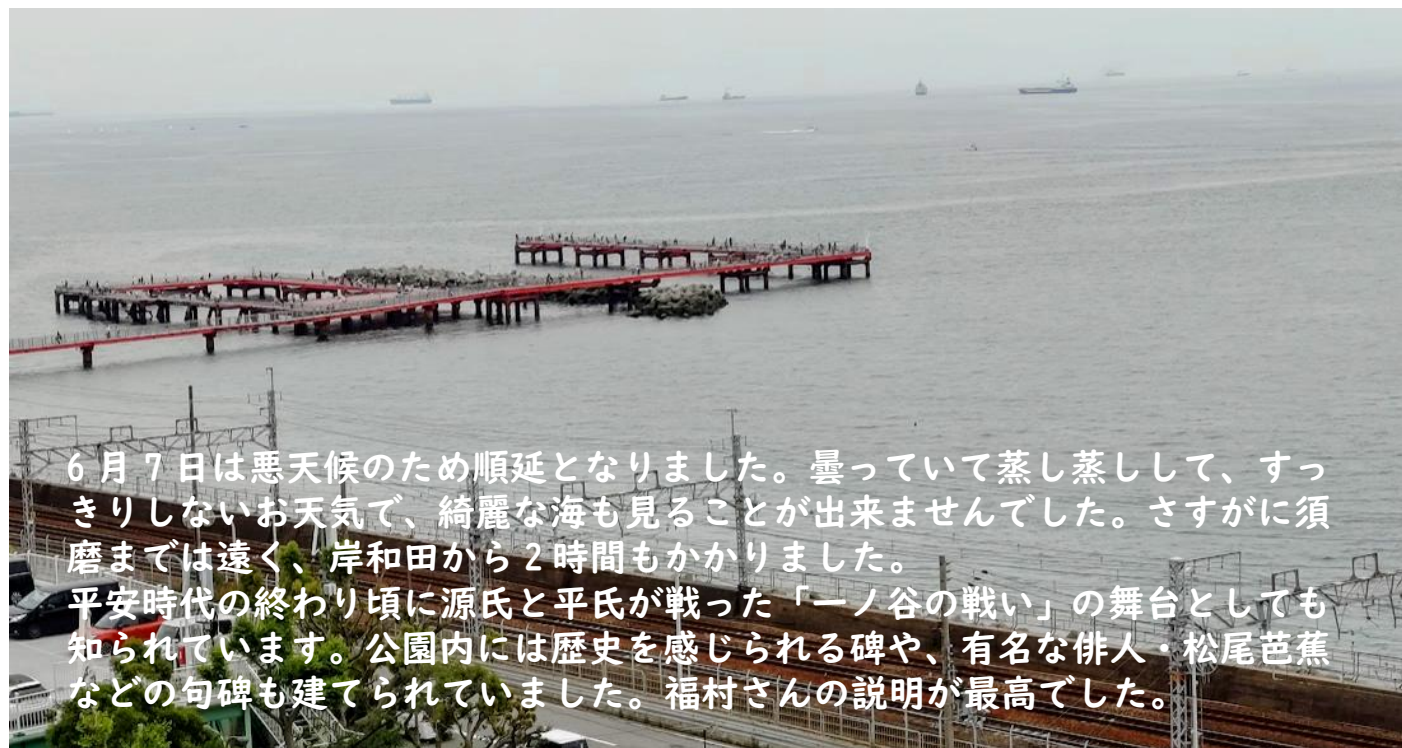
令和8年 6 月 14 日

第977回

文人を訪ねて 須磨浦公園から

須磨寺を歩く

参加者 29 名 距離 8Km ○○



山陽電鉄

須磨浦公園駅

スタート・点呼・体操

あつもりづか

敦盛塚



源平一ノ谷合戦の際、1184年2月7日
当時 16 歳の平敦盛が熊谷次郎直実によって首を討たれ、供養のための五輪塔。





須磨浦公園

晴れていたら淡路島が一望出来たのにと、ちよっぴり残念でした。海から山がすぐそばで、それに真下にはＪＲと山陽電車が頻繁に走っていて、気持ちの良いハイキングでした。



一ノ谷戦の濱碑



沢山の人が清掃している砂浜を見ながら、休憩タイムです。



鉢伏山

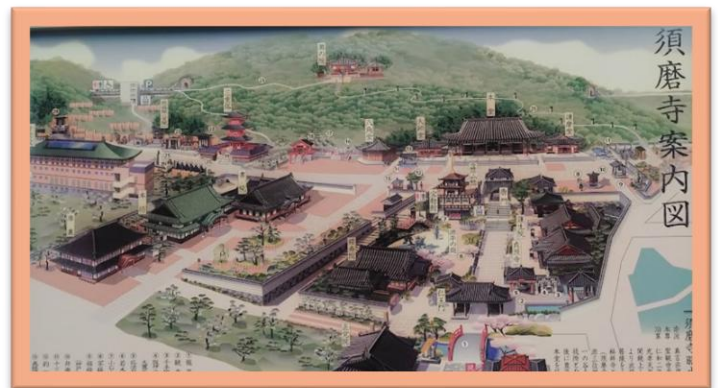
現光寺

源氏物語』の「須磨」の巻で、政敵からの迫害を逃れた光源氏がわび住まいをした跡地と伝えられており、別名「源氏寺」とも呼ばれている。松尾芭蕉や、正岡子規もここを訪れており、境内には彼らの句碑が建てられています。梅がいっぱいあっていて貰って帰りました。



須磨寺

平安時代末期に起きた「源平合戦」の悲話が数多く残るお寺として非常に有名です。1時間の時間を貰い、先に源平の庭で集合写真を撮り、須磨寺公園でお弁当を食べて各自散策しました。宝物館では、『青葉の笛』など源平合戦を詳しく知ることが出来ました。



夏椿





義経が腰掛けて首実検をした松



敦盛さんの首塚



三重塔・四国、西国ミニ巡礼



敦盛首洗い池



浮御堂からの須磨寺



つなしき

綱敷天満宮

菅原道真が太宰府へ左遷される途中、風雨を避けるために須磨の海岸に立ち寄りしました。漁の「大綱」を丸く巻いて座席（円座）を作り、道真を座らせた事から綱敷と言う名前。



須磨海浜公園



JR 鷹取駅



見どころいっぱいコースでした。

担当は福村さん③③、双和さん③⑦、西野さん④②、サブリーダーは宮本さん④⑥、大山さん④⑧でした。お疲れ様でした。新しい須磨水族館行って見たいな。